

# 逗子のチャンス。 財政再建は これからだ！



討議資料

財政の危機的状況からは  
まだ脱してはいません。  
桐ヶ谷さとりには  
ピンチをチャンスに変える  
経験とノウハウがあります。



## 【財政再建へ】桐ヶ谷のチャンスな提言

### <チャンス1>

市政に  
ビジネスセンスを！

実業家として長年培ってきた  
ビジネスの経験とノウハウを  
市政に活かせば、  
より生産性の高い財政へ転換できる。

### <チャンス2>

企業と起業で  
新しい財源を！

ITデジタル化時代、働き方改革の時代の  
追い風に乗って、企業誘致と起業促進を。  
ビジネスに「逗子ブランド」を掲げ、  
トレンドと、新たな財源につなげる。

### <チャンス3>

女性から  
「逗子力」アップ！

働きたい女性にとって、  
働く場の選択肢を取り揃えることで、  
家計と生きがいを充実させる  
「逗子力」アップにつなげる。



逗子のチャンス→

# 財政危機は、市の課題を 解決するチャンス！



<桐ヶ谷の視点>

**財政再建へ。**

**現行の市政では、まだ何も解決できていないという事実。  
まずは、問題提起を兼ねた検証を行います。**

現市政の「緊急財政対策プログラム」によって帳簿上改善が見られたように思えるが、市保有の土地を売却した分の臨時収入が含まれていて**恒常的な収支の改善ではない**。加えて法人市民税は年々減少し、この2年で24%(7,888万円)のダウン。これでは**財政の危機を脱したことはない**し、財政再建への道筋は不透明なまま。そもそも財政が回復したなら、「**緊急**」財政対策プログラムとして、**市民の安心安全を守る行政サービスをただちに再開すべき**ではないだろうか？

**財政危機を脱出したというのに、  
具体的な行政サービスには反映されていないという  
不思議な事実。**

●**即再開できる小学校通学路交通整理員は休止のまま。**

安全対策として信号機を設置する予定になっているが、設置費用は、市の予算ではなく警察の予算、つまり県の予算で設置するもの。しかし保護者が望むのは「おはよう」「おかえり」と見守る交通整理員、人の温かさの回復だ。

●**図書館の閉館時間延長は未定のまま。**

逗子市民の利便性を第一に考えれば、即実行に移せる行政サービス。開館時間の延長だけでなく、返却ポストの再開や休日をなくすことも検討議案にいれる必要があるのではないか。

●**高齢者センター浴場の再開はどうか？**

来年度の10月再開に向けて予算化する方針だが、実質利用者数が限られている浴場の再開だけでなく逗子高校(2021年度募集停止)を含む池子地域の企業をまきこんだ再開発事業も考えるべきではないか。

●**防災対策への遅れは、まさに致命的になるかもしれない。**

神奈川県地震被害想定調査報告書(平成27年3月)によると、大正型関東地震が18時に発災した場合の避難者数は、29,510人が想定されている。それに対して、逗子の避難所の合計収容人数は20,113人(逗子市地域防災計画より)しかない。

## なぜだろうか???

桐ヶ谷さとの  
プロフィール

【経歴】  
昭和24年3月24日生  
立教大学経済学部卒業  
株式会社 キリガヤ 代表取締役  
前逗子市観光協会会長

前逗子市商工会会長  
みんなでがんばろう 逗子PROJECT 委員長  
(東日本大震災の復興支援活動)  
前みんなでつくる逗子海岸花火大会 実行委員長  
前生ごみ減量プロジェクト「キエーロ」推進責任者

【家族】  
妻、長男、次男、孫4人